



表彰式および展示会の様子
(令和6年12月、徳島県立二十一世紀館にて)

“人権尊重～ひと・いのち・ふれあい～” 令和6年度「人権に関する児童生徒の作品」

徳島の未来を担う子どもたちが「人権」と向き合い、自分なりに考えるきっかけをつくるため、あいぽーと徳島では「人権に関する児童生徒の作品」を毎年県内の児童生徒から募集しています。

意見発表に係る作文、作詩作曲、標語ポスターの3部門に、50,533点という数多くの応募があった中から、**知事賞を受賞した作品及び各賞受賞者名**を紹介します。

主催／徳島県・徳島県教育委員会・徳島県立人権教育啓発推進センター(あいぽーと徳島) 後援／徳島県小学校長会・徳島県中学校長会・徳島県高等学校長協会・徳島県特別支援学校長会・徳島県人権教育研究協議会

「ちがいを大切にできる世界に」
三加茂中学校 二年
カリノ シェレミー サムエル

私は、フリビンで生まれ、三歳の時に日本へ移住しました。英語が話せなかったため、日本人の友達をたくさん作りたい一心で、日本語の勉強を頑張りました。幼稚園に入る頃には、かなり話せるようになっていきました。生活環境の違いから、言動が日本の子どもたちとは違っていました。

幼稚園では周りの日本人ばかりで目を合わせるのが恥ずかしかったです。でも、一緒に遊ぶことがあって多岐な友達と仲良くすることができました。でも、日本語が話せなくて、友達と話すことができませんでした。でも、友達と話すことができたのは、とても嬉しかったです。

小学校に入学してからも、いろいろな友達と出会いました。最初は、言葉が通じないのが、とても寂しかったです。でも、友達と話すことができたのは、とても嬉しかったです。

一つの記事に出会いました。それは、アンジェラ・アキさんの記事です。彼女は、徳島県の実業家の娘で、父は日本人、母はイタリア人です。成長するにつれて、自分のアイデンティティについて考えるようになったそうです。

重さには何も違くないというところ。自分と違っているところ。自分より劣っているところ。自分より優れているところ。自分より劣っているところ。自分より優れているところ。

「新たな一歩」 作詩作曲/城東高等学校1年 西谷 美海

知事賞受賞曲は、あいぽーと徳島のホームページから
お聴きいただくことができます。
<https://www.aiport.jp/katsudo/sonota/page04.html>

「おまえって外国人やけん、変わってるといふ顔してさ、服やすることちよと違ってるよ。」と言われまして、

小学校に入学してからもいろいろな友達と出会いました。最初は、言葉が通じないのが、とても寂しかったです。でも、友達と話すことができたのは、とても嬉しかったです。

一つの記事に出会いました。それは、アンジェラ・アキさんの記事です。彼女は、徳島県の実業家の娘で、父は日本人、母はイタリア人です。成長するにつれて、自分のアイデンティティについて考えるようになったそうです。

重さには何も違くないというところ。自分と違っているところ。自分より劣っているところ。自分より優れているところ。自分より劣っているところ。自分より優れているところ。

「新たな一歩」 作詩作曲/城東高等学校1年 西谷 美海

知事賞 作詩作曲部門

知事賞 作詩作曲部門

知事賞 標語ポスター部門

大保小学校1年 西田 ゆず

王地小学校2年 山田 結愛

椿泊小学校3年 井村 菜々美

知恵島小学校4年 浅尾 咲希

知恵島小学校6年 阿部 涼音

山瀬小学校6年 川口 直生

国府支援学校 中学部1年 堀江 一惺